

情報通信審議会 情報通信技術分科会  
新世代モバイル通信システム委員会（第37回）

－ 議事概要 －

1 日時

令和7年10月31日（金）10:00～10:20

2 場所

Web 会議

3 出席者（敬称略）

（1）委員等

森川 博之、岩浪 剛太、大神 正史、大岸 裕子、大坂 亮二、大谷 和子、岡野直樹、上村 治、川西 直毅、河東 晴子、坂本 信樹、高田 潤一、辻 ゆかり、藤井 威生、町田 菜穂、矢入 郁子、山本 祐司

（2）オブザーバ

鞆田 健、市橋 洋基（株式会社三菱総合研究所）

（3）総務省

五十嵐 大和（移動通信課長）、

乾 浩斉（移動通信課課長補佐）、

岩佐 直毅（移動通信課 第二技術係長）

渡邊 真也（移動通信課 新世代移動通信システム推進室 システム企画係長）

4 議題

（1）委員会報告（案）「高高度プラットフォーム（HAPS）の技術的条件」に対する意見募集の結果について

事務局から資料37-1（委員会報告（案）「高高度プラットフォーム（HAPS）の技術的条件」に対する意見募集の結果と意見に対する考え方（案））に基づき説明がなされ、質疑応答がなされた。

大岸専門委員：全体的に賛同が多く、新しい選択肢ができたということに対して皆さんの期待感が見えていると思う。今までの技術も、新しい技術も含めて制度設計されて、どんな場所や災害等でも取り残されず、ユーザの負荷が増えないように今後とも検討いただきたい。

特段の修正意見はなかったため、案のとおり委員会の考え方（資料37-1）及び委員会報告（資料37-2及び資料37-3）を取りまとめ、委員会報告については情報通信技

術分科会に答申案件として諮ることとなった。

(2) その他

事務局より、次回会合については改めて連絡する旨報告があった。

以上